

事業番号	09 03 04	事業改善シート（令和2年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業改良普及事業		部局	農政部	課・室	農業技術課		
			実施期間	S23 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	労働生産性							
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進							
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入							

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業者に接し、新品種・新技術の実証展示ほを活用した生産指導や経営改善指導等に関する普及活動を通じて、自主的に課題解決できる農業者を育成し、農業・農村の持続的な発展を図っている。</li> <li>○人・農地プランづくりや農業の6次産業化支援等、地域の新たな課題の解決に向けた普及活動を実施している。</li> <li>○食品企業等の実需者ニーズを的確に把握した契約取引を行う新たな産地づくりを推進するなど、時代の変化に対応した普及活動を展開し、農業者の所得向上を図っている。</li> </ul>	令和2年度 補正後額	60,836 千円
			職員数
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高度化する農業技術や環境と調和のとれた農業生産、多様化する流通・消費形態、高度情報化等に対応した農業経営者が地域で活躍するとともに、農業・農村を担う組織づくりがなされ、地域農業の振興と活性化が図られている。</li> <li>○食品産業界が求める農産物を生産し契約取引を行う農業者が増加し、産地が育成され、農家所得の向上が図られている。</li> </ul> <p>(主な実施内容: 試験場施設整備、素材開発研究、県単プロジェクト研究など)</p>		

事業 コスト	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況						
	R元年度	2年度	2補正後	No	成果指標	元年度末	2年度末 (見込)	令和3年度			
								目標値	成果	達成状況	
予 算 額	前年度繰越										
	当初予算	71,927	64,780	64,780							
	補正予算		-2,444	-3,944							
	合計(A)	71,927	62,336	60,836	①	指標平均進捗率(%) (県食農計画の指標のうち、普及事業に係る4項目及び普及活動重点課題の7項目、計11項目の平均)	108	100	100		
Aの 財源	一般財源	38,462	32,086	29,008	②	<11項目の主な指標1> 新規就農者数(名)	216	250	250		
	県債										
	国庫支出金	32,675	31,943	31,077	③	<11項目の主な指標2> 1等米比率(%)	97	98	98		
	その他	790	-1,693	751							
決 算 額(B)	56,125				④	<11項目の主な指標3> 県オリジナル果樹品種の栽培面積(ha)	60	159	207		
概 算 人 件 費	職員数(人)	186.0	183.0	183.0							
	概算人件費(C)	1,506,972	1,482,666	1,503,894	⑤	新規契約取引成約件数(件)	65	70	70		
概 算 事 業 費(B(A)+C)	1,563,097	1,545,002	1,564,730								

成果指標 設定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>①第3期食農計画の目標達成に向けて、農業農村支援センター(仮称)が重点的に取り組む指標の平均進捗率を指標として設定。</li> <li>②~④ ①のうち、普及活動での重要度が高い新規就農者数の確保(第3期食農計画の達成指標数値)、1等米比率全国トップクラスの維持、県果樹試験場開発のオリジナル品種(シナリップ、クイーンルージュ)の面積拡大を指標として設定。</li> <li>⑤契約取引を行う新たな産地づくりを進めるため、新規契約取引成約件数を指標として設定。</li> </ul> <p>※現行の「農業改良普及センター」は「農業農村支援センター(仮称)」に組織改正を予定しています。</p>
--------------	---

補正により取り組む 事業内容	・事業費の確定による減額
-------------------	--------------

### 2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	令和2年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	令和2年度		
				(補正前)	(2月補正)	(補正後)
1	農業改良運営費	・県下10所の農業農村支援センター(仮称)に普及指導員を配置して地域における課題を解決するため、普及活動を展開する。	186.00	45,768	0	45,768
2	農業改良事業費	・担い手の育成・確保や農業関係試験場が開発した新技術・新品種の普及、農業者の経営改善など、協同農業普及事業の実施に関する指針に基づいた普及活動を展開する。 ・農業機械メーカーの協力等によりスマート農業技術の導入支援や農業者や指導者を対象とした研修会の開催及びJIA等の関係機関と連携した指導体制の整備を図る。	兼務	15,817	-1,500	14,317
3	中山間地域農産物橋渡し支援事業	・契約取引を志向する農業者等を対象とした農産物取引等に関する基礎知識習得研修会等を開催する。 ・契約栽培を開始する上で必要となる、伝統野菜、新品目・新品種等の栽培技術指導及び食品産業界と農業者の交流会を開催する。	兼務	751	0	751
合計			186.00	62,336	-1,500	60,836

事業番号	事業名	農業改良普及事業				部局	農政部		課・室	農業技術課				□当初要求	□当初予算案
							30年度	元年度		令和2年度				■補正予算案	□点検
09 03 04						2年度 実施 状況	当初 (千円)	当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	備考 (R2事業番号)		
1	農業改良普及運営費	農業農村支援センター（仮称）の運営費	直接	県下10所の農業農村支援センター（仮称）に普及指導員を配置して地域における課題を解決するため、普及活動を展開する。			50,988	49,055	46,959	46,959	-1,191				
2	農業改良普及事業費	農業農村支援センター（仮称）の活動事業費	直接	担い手の育成・確保や農業関係試験場が開発した新技術・新品種の普及、農業者の経営改善など、協同農業普及事業の実施に関する指針に基づいた普及活動を展開する。 また、農業機械メーカーの協力等によりスマート農業技術の導入支援や農業者や指導者を対象とした研修会の開催及びJA等の関係機関と連携した指導体制の整備を図り、本県農業のスマート化を加速する。			12,632	22,082	17,278	17,070	-2,753				
3	中山間地域農産物橋渡し支援事業	中山間地域農産物の実需者との取引を支援	直接	契約取引を志向する農業者等を対象とした農産物取引等に関する基礎知識習得研修会等を開催、契約栽培を開始する上で必要となる、伝統野菜、新品目・新品種等の栽培技術指導及び食品産業事業者と農業者の交流会を開催する。			790	790	751	751					
合 計							64,410	71,927	64,988	64,780	-3,944	0			